

登米市固定資産管理システム更新業務公募型プロポーザル審査基準

1 審査方法

- (1) プロポーザル参加者（以下「参加者」という。）から提出された提案書に基づき、一次審査（書類審査）、二次審査（参加者のプレゼンテーション及び審査委員のヒアリング）を行う。一次審査では、提出された参加意向申請書等を基に、資格要件の確認、評価基準に基づいた評価を行う。参加意向の申請者が多数の場合は、評価基準に基づき、上位3者をヒアリングの対象者として選定する。二次審査は、プレゼンテーション40分、ヒアリング15分、準備10分、片付け5分の合計70分以内とし、追加資料の配付は認めない。ただし、説明の補足用としてパワーポイント等の利用は可とする。
- (2) 審査委員は、評価基準に基づき審査を行う。
- (3) 全ての参加者の審査が終了したときには、一次審査と二次審査における各審査委員の総得点の合計を審査委員数で除した平均点が最も高い参加者を契約候補者、契約候補者の次に評価点の合計が高い参加者を次点契約候補者に選定する。ただし、評価点が120点未満の場合は、契約候補者及び次点契約候補者となり得ない。
- (4) 同点の場合は、審査委員会委員の多数決をもって、契約候補者を決定する。同数の場合は、委員長が決定する。

2 評価基準

- (1) 評価項目と配点は別紙のとおりとする。
- (2) 評価方法

① 企画提案書内容評価（二次審査）

- ・評価項目ごとに次の基準に基づいて評価を行う。

評価	基準	評価点
A	提案内容が優れている	配点×1.0
B	提案内容が満足である	配点×0.6
C	提案内容が劣っている	配点×0.2

② 価格評価

- ・導入費……配点×（最も低い見積額÷当該参加者の見積額）
- ・運用費……配点×（最も低い見積額÷当該参加者の見積額）

【別紙】

下表の「評価の視点」欄に基づき評価する。

評価項目		評価の視点	審査区分	配点
参加申込書類	業務実績	過去５年間で LGWAN-ASP 方式での他自治体への十分な導入実績があるか。	一次審査	50
	情報セキュリティ対策	ISMS を全社・全部門または一部の部門で取得しているか。		
	予定管理技術者の経験及び能力	・ 過去５年間の LGWAN-ASP 方式の導入実績		
	予定照査技術者の経験及び能力	・ 過去５年間の LGWAN-ASP 方式の導入実績		
	予定担当技術者の経験及び能力	・ 過去５年間の LGWAN-ASP 方式の導入実績		
企画提案書類・プレゼン・デモ	業務実施方針	システム導入に向けた方向性や実施概要、システムの安定稼働を目的とした保守について明示されているか。	二次審査	110
	業務実施体制	技術者の業務分担や配置、システム導入後の業務遂行体制や迅速な相談対応等が明示されているか。		
	業務実施工程	システム導入、運用までのプロセス、スケジュール等が明示されているか。		
	システム構成内容	固定資産管理システムと庁内共用利用システムとの連携や登記データ管理機能等について明示されているか。		
	データ搭載方針	運用に支障を来すことなくデータが安全に移行する具体的な方針が記載されているか。		
	情報セキュリティ対策	情報セキュリティ対策についてあらゆる側面から具体的な方策について明示されているか。		
	システム運用・保守	障害時における連絡体制や復旧手順について等明示されているか。		
	システムの操作性	システムの操作にあたり、使いやすく分かりやすいものになっているか、速度や表示は問題ないか。		
	独自提案・アピールポイント	その他、本業務の実施にあたり有効と思われる独自の提案がなされているか。		
見積書	提案価格の妥当性を評価する。			40
計			200	